

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	AC314／史学講義 14 (Lectures on History 14)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	近代東アジア・ユーラシア2		
担当者名 (Instructor)	上出 徳太郎(KAMIDE TOKUTARO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	HIS3500	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標 (Course Objectives)

広大な中国の諸地域の特徴や地域間関係を考えることにより、大陸世界と海域世界の関係の中で近代中国の歴史を理解できるようになる。

経済や社会の歴史的变化を知ることにより、現代世界や日本とは異なる条件のもとでの政府や民衆の行動について考えることができるようになる。

Considering varying characteristics of regions and complex interregional relations in the vast territory of China, this course helps student to understand the history of modern China in the context of the relationship between Sea area and Continental area.

Through the acquisition of the knowledge about the change of economy and society, student will be able to think about the conduct taken by the government and peoples under the conditions which are different from today's world or Japan.

授業の内容 (Course Contents)

清朝末期から中華民国初期の歴史的展開について、財政や商業、貨幣システムを重視して講義を行う。

This course will overview the Chinese history from Late Qing dynasty to early years of the Republic of China, focusing on the state finance, trade and commerce, monetary system.

授業計画 (Course Schedule)

1. 導入
2. 清代以前の中国の経済と社会
3. 清代、中華民国時期の政治史概説
4. 清代の経済と社会1 産業と財政
5. 清代の経済と社会2 貿易と貨幣制度
6. 清末の社会と経済1 19世紀前半の貿易とその影響
7. 清末の社会と経済2 太平天国の動乱と経済・財政
8. 清末の社会と経済3 19世紀後半の社会と経済
9. 清末の社会と経済4 辺境統治と財政
10. 清末の社会と経済5 新政と財政改革
11. 中華民国時期の社会と経済
12. 中華民国時期の財政、貨幣政策
13. その後の中国の社会と経済
14. テスト

授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

下記参考文献などを参照して、適宜中国史についての知識を獲得、補充してほしい。

成績評価方法・基準 (Evaluation)

最終テスト(Final Test)(40%) / リアクションペーパー(40%) / 小レポート(20%)

テキスト (Textbooks)

なし。講義時にレジュメを配布する。

参考文献 (Readings)

1. 尾形勇・岸本美緒編、1998、『新版世界各国史3中国史』、山川出版社 (ISBN:9784634413306)
2. 吉澤誠一郎、2010、『清朝と近代世界』、岩波書店 (ISBN:9784004312499)
3. 川島真、2010、『近代国家への模索』、岩波書店 (ISBN:9784004312505)
4. 岡本隆司編、2013、『中国経済史』、名古屋大学出版会 (ISBN:9784815807511)

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

毎回のリアクションペーパーに対しては、次回授業の始めにフィードバックを行う。

注意事項(Notice)